

平成28年8月22日

# 今日から二学期の スタートです

校長 柳瀬充男



今年の夏休みも、宿題をしたり読書をしたりできるように図書室を開放しました。朝早くから、多くの皆さんが来てくれて、椅子が足りなくなるくらいでした。そこでは、自分一人でがんばる子もいれば、友達にヒントをもらって考えている子もいました。お昼までの限られた時間でしたが、クーラーの効いた部屋でみんな一生懸命勉強していました。また、プール開放にも多くの子どもたちが来てくれました。

今年から、二学期の始業式が早くなりました。いつもなら、夏休みの宿題の追い込みをしている頃ですが、今日から二学期がスタートします。太陽がぎらぎらと照りつける陽気の中、汗をかきながらのスタートとなります。ただ、各教室にはクーラーを付けてもらいましたので、暑さは随分軽減されそうです。給食もすぐに始まりますが、気持ちよく食べられそうです。

今年の夏は、オリンピックの番組をたくさん見て、少し夜更かしをしてしまいました。体操、柔道、水泳、テニス、卓球、レスリング、陸上・・・と日本選手の活躍がいつも気になっていました。オリンピックの日本人初の女性金メダリストは、前畑秀子さん(ベルリンオリンピック(1936)200m 平泳ぎ)で、橋本市出身の方です。その他に、和歌山県出身のオリンピック選手には、宮本恵美子さん(東京オリンピック(1964)女子バレー：金メダル)田中和仁、理恵、佑典さんの三兄弟(ロンドン大会(2012))などがおられます。私たちは、とにかく、メダルの色に関心があってしまいますが、本当は、オリンピックの参加標準記録を突破する、地域の予選を突破するなどして、オリンピック選手に選ばれること自体が難しく、すばらしいことだということをもう一度思い返しておきたいと思います。厳しい選考を乗り越えた選手があの大舞台上で競い合っているのですから、見る者に大きな感動を与えるのだと思います。

将来、皆さんの中からオリンピック選手が出るかもしれませんね。大きな夢を見たいと思います。